



国分北、喜久川英仁・恭子さんの長女(亜柚)・2女(未柚) = 1歳



喜久川 未柚ちゃん(右) 亜柚ちゃん(左)



河原口、今村幸志・奈保子さんの2男 = 1歳1カ月

今村 翼ちゃん



河原口、藤本克志・比呂美さんの2女 = 1歳

藤本 夏音ちゃん



中央、櫛田和弘・哲子さんの長女 = 1歳1カ月

櫛田 ゆりあちゃん



勝瀬、豊増禎明・恵理さんの長男 = 1歳1カ月

豊増 郁哉ちゃん



社家、落合和寿・清美さんの2男(剣亮)・3男(遥亮) = 1歳1カ月



落合 遥亮ちゃん(右) 剣亮ちゃん(左)

落合 遥亮ちゃん(右) 剣亮ちゃん(左)



中新田、笹盛明・房子さんの長女 = 1歳1カ月

笹 ゆりなちゃん



柏ヶ谷、安田秀行・こずえさんの長男 = 1歳1カ月

安田 瑠ちゃん



中央、古澤浩美・祐子さんの2男 = 1歳1カ月

古澤 陽輝ちゃん



国分北、今福芳光・千絵さんの長女 = 1歳

今福 彩花ちゃん

まんまる赤ちゃん



▲健やかに長寿を祝う

8月27日、敬老の日を前に亀井市長が、市内最高齢者の三宅つるさん(105歳・上今泉在住)を訪問。市長の「元気で長生きを」の声かけに三宅さんは笑顔で答えていました。

フォトピククス



▲"もしも"に備えて防災訓練

8月31日、海西中学校を会場に総合防災訓練が行われました。防災意識が高まる中、約1100人の参加者は消火や救護など実践的な訓練を体験しました。

このコーナーに掲載を希望する方は電話で広報広聴課(内272)へ。対象は、申込時点で満9カ月未満の赤ちゃんに限りますので、お早めどうぞ。応募多数の場合は抽選のうえ掲載します。

海老名の秋風景 写真募集
▽募集写真 秋の市内風景を撮影したカラープリント(判タ)1点。ただし、ネガ・ポジ・デジタルデータ・すでに発表されたものは除きます。▽応募方法 写真裏面に撮影者の住所・氏名・電話番号・撮影日・撮影場所を記入し、11月17日(月)までに直接または郵送で市役所広報広聴課へ。選考のうえ、数枚を広報えびな紙上で、また掲載できなかった作品をホームページ上で紹介します。



▲市民の期待乗せバス出発!

8月30日、市内の新しい交通手段として期待を受けてコミュニティバスが試験運行を開始しました(平成17年3月31日までの試験運行中は海老名市役所~北部公園間を1日10往復します)。

びびきあう講演実施
8月18日、文化会館で開催された市教育研究発表大会では、学校や教育センターの取り組みの報告や、記念講演「子どもの社会力を育てよう」(門脇厚司・筑波大学教授)が行われました。



海老名町で広報紙が発行されてから今年で47年目。過去の広報紙をまとめた縮刷版は、時代の推移がわかる歴史書の側面があります。

その第一歩はあいさつ。まず、大人が手本になるべきに「犯罪防止には、警察などによる警戒や取締りが不可欠だが、一方では、PTAや地域の人たちも見回りなどをして活動する。大人が関心を高め、協力し合ってさまざまな活動を持続すれば、徐々に効果は現れ、良い社会が生まれる」と答弁。
本会議を終えた議員からは「緊張したが、気になっていた疑問に市長さんが分かりやすく答えてくれたのでうれしかった」という感想が聞かれました。また市長も、「良いまちにするためには、まず自分が住んでいるまちを好きになること。好きになると、疑問や改善点が見えてくる。大人になっても、今日のように海老名に関心をもち続けてください」と話し、こども議員は終了しました。



議会でも奮闘 子ども議員
市内小中学校代表の19人が議員になって、海老名のまちづくりについて質問や要望を行う「海老名こども議会」が、8月6日、市議会議場で開催されました。
この議会は、21世紀を担う子どもたちが、通常の議会と同じ委員会形式と一般質問形式を通して、市民としての自覚や郷土愛を高め、議会制民主主義を学ぶことを目的としたもので、市教育委員会が取り組んでいる「びびきあう教育」の実践のひとつとして行われました。
子ども議員は、始めに「教育・福祉部門」と「環境・まちづくり部門」の2つの委員会に分かれ、保護者の方が見守る中、「個性を伸ばす教育」についての質問や、「市の森林保護」についての要望を述べ、各部長が行政側の考えを示しました。
続いて、本会議場に移動した子ども議員は、岩村陽子議長(海老名中学校3年)の進行で、4人の議員が亀井市長に代表質問。
「海老名の多くの子どもたちが互いにあいさつができるようになれば、もっと良いまちになるのではないかと」能登愛議員 大谷小学校6年、「非行少年への取り組みは？」(坂上拓也議員 海老名中2年)これらに対し、亀井市長は「良いまちにするためには、互いの心が通じ合う必要があります。通じ合うためには、互いの心が通じ合う必要があります。」と答弁。

編集後記
価値観の多様化が進む現代アンケート調査結果をもとに、多くの人が満足できる広報紙を発行し、縮刷版に加えたいものです。(正)